

## 佐渡におけるシダ植物の分布追加

中川 清太郎

佐渡ヶ島におけるシダ植物について、近年の観察で新たに確認した種および産地の追加を記録する。

1. ホラシノブ *Sphenomeris chinensis* (L.) Maxon (ほんぐうしだ科) (新潟県絶滅危惧種: VU) [写真1]  
佐渡市小木弁天崎10m:IS-Photo OL071217-55~58・60~64 [(小木) 5638-52-71]  
生育地は、コモチシダの群生地近くであり、もろい砂岩の海岸段丘斜面上部に群生する。全ての小羽片の裂片の先端に1-2個のソーラスがある。平面的で軽やかに枝垂れる。佐渡には羽茂町:長尾長治 (59) の採集記録があり (牧野 2000)、48年ぶりの再発見である。  
小木地区の中心部にも近いので、周辺植生の改変は言うに及ばず、人の立ち入りも極力さげたい。
2. オサシダ *Blechnum amabile* Makino (ししがしら科) [写真2]  
佐渡市相川北狄 (北狄川) 100m:IS-414343, Photo 070429-19・20 [相川3638-12-02]  
オサシダは、佐渡では稀産であり、相川鉱山、戸他などの記録がある (北見 1963)。下山川砂坊ダムの上で日当たりの良い急斜面にやや密生する小群生を見た (2007.4.28) ので、産地を追加する。
3. コモチシダ *Woodwardia orientalis* Sw. (ししがしら科) (新潟県絶滅危惧種: LP) [写真3]  
佐渡市小木強清水 120m:IS-Photo OL071217-51~53 [(小木) 5638-51-78]  
農道脇に2株自生 (2007.4.5)。同地でその数年前に5株見ていることから減少の傾向にある。  
佐渡市小木弁天崎10m [(小木) 5638-52-71]  
弁天崎の自生地では最大で根元から約160cmの大株も確認した (2007.12.17) が、佐渡のコモチシダでは不定芽を見たことがない。県内では、これまで小木で1箇所記録されているが、上記2箇所を加えて3箇所の生育地が確認されたことになる。
4. キヨスミヒメワラビ *Ctenitis maximowicziana* (Miq.) Ching (おしだ科) [写真4]  
佐渡市静平 260m [(羽茂本郷) 5638-62-87]  
ヒノキアスナロ植林の林縁部で3葉の一株を確認した (2007. 8.29)  
佐渡市新穂大野小股沢 250m:NS Photo (2007.9.4), IS-416777 [(河原田) 5638-73-67]  
ヒノキアスナロ天然林の沢沿いに散生し、一部群生する (2007.9.4)。若葉の葉柄に白毛が密生し、古い (2007年) 白毛は徐々に淡い茶色へと変色する。両自生地とも小佐渡のヒノキアスナロ林下である。県内では笹神村 (登坂 1995) の記録がある。上記2地点を佐渡新産として記録する。
5. ウスヒメワラビ *Acystopteris japonica* (Luerss.) Nakai (いわでんだ科) (新潟県絶滅危惧種: VU) [写真5]  
佐渡市新穂大野小股沢 250m:IS-416780 Photo OL070926-123・124・125 [(河原田) 5638-73-67]  
ユキツバキを伴うヒノキアスナロの小林分が点在する林域の林縁部、やや湿った急斜面に3×6mほど群生 (2007.9.26)。  
佐渡市新穂大野川 160m [(河原田) 5638-73-76]  
大野川ダムの上流部、小形の個体が数箇所に散生する (2007.12.26)。佐渡では小木町小比叡に1960年に牧野恭次氏採集の記録がある (牧野 1982)、上記産地を追加する。
6. タニイヌワラビ *Athyrium otophorum* (Miq.) Koidz. (いわでんだ科) (新潟県絶滅危惧種: VU) [写真6]  
佐渡市新穂正明寺 90m: 朱 雁 ('07 IS-416753 Photo OL080211-10・11) [(両津) 5738-03-26]  
コナラ林下に常緑の一株だけの自生を確認した (2008.2.11)。佐渡では報告もないので、佐渡新産として記録する。
7. イワヤシダ *Diplazium cavalerianum* (H.Christ) K.Kato (いわでんだ科) [写真7]  
佐渡市新穂大野股沢 250~300m:NS Photo (2007.8.26), IS-416773・416784 [(河原田) 5638-73-67]  
ヒノキアスナロ、ユキツバキ、ウワバミソウなどが群生する小さな沢沿いのやや急斜面に、点々と生育している (2007.8.26)。ソーラスの形は無着色のウインナーソーセージを思わせ、主脈沿いに対生したように並ぶ。佐渡での記録は見つからないので、佐渡新産として記録する。この付近一帯は貴重な地域であることが判明した。未永く改変されないことが望まれる。

[備考] 標本・写真資料略号 IS-:石沢 進;NS:中川清太郎

## [文献]

- 北見秀夫 (1963) 佐渡博物館研究報告 第5集  
 牧野恭次 (1982) 新潟県植物分布図集 第3集:15~16  
 牧野恭次 (2000) 新潟県のシダ植物誌



写真1 ホラシノブ

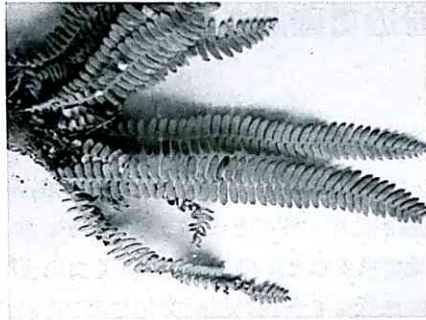


写真2-1 オサシダ



写真3 コモチシダ



写真2-2 オサシダ



写真4-1 キヨスミヒメワラビ

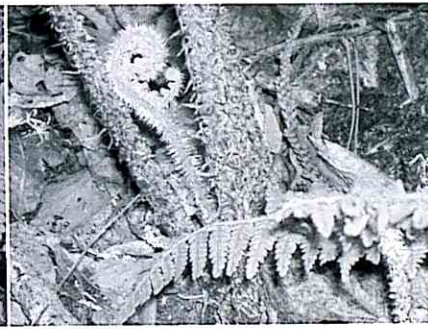


写真4-2 キヨスミヒメワラビ



写真5 ウスヒメワラビ



写真6 タニヌワラビ

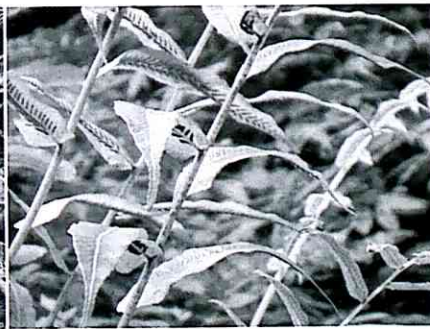


写真7-1 イワシダ

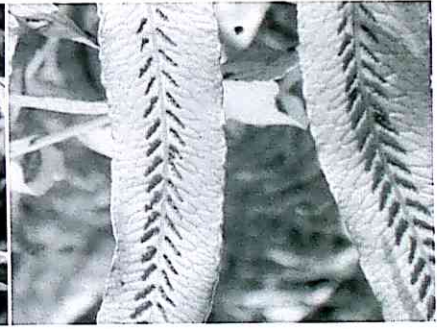


写真7-2 イワシダ